

株主の みなさまへ

第93期 中間期

平成28年4月1日～平成28年9月30日



“Performance” Through Chemistry



◎目次

株主のみなさまへ/財務ハイライト/ TOP INTERVIEW	1-2	財務諸表 TOPICS	7 8
セグメント別 営業の概況	3-6	会社概要/株式の概況	9-10

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配をたまり、厚くお礼申しあげます。当社第93期中間期(第2四半期累計期間:平成28年4月1日~平成28年9月30日)の連結業績の概要をここにご報告申しあげます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまりますようお願い申しあげます。

平成28年11月

代表取締役社長 宇藤 孝夫

社是

企業を通じて
よりよい社会を建設しよう

財務ハイライト(連結)

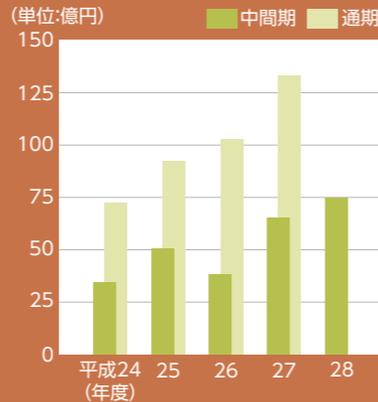
売上高の推移



営業利益の推移



経常利益の推移



親会社株主に帰属する当期純利益の推移



※1株当たり当期純利益の推移



総資産・純資産・自己資本比率の推移



※1株当たり当期純利益につきましては、10月1日付で実施した株式併合(5株→1株)後の株式数で算出しておいております。

◎セグメント別 営業の概況

[各産業関連分野の売上高比率と主な製品]

環境・住設産業 関連分野他

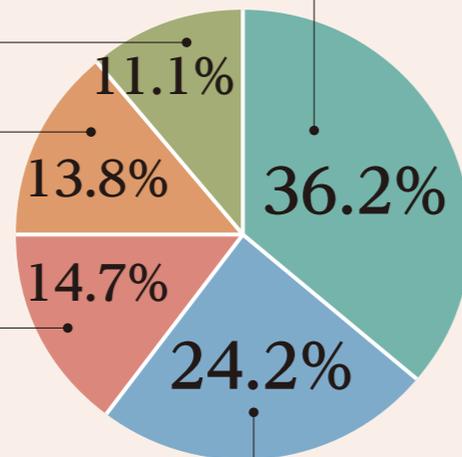
- 〈主な製品〉
- 廃水処理用高分子凝集剤
 - ポリウレタン 家具・断熱材用原料
 - 反応性ホットメルト接着剤
 - セメント用薬剤
 - 建築シーラント用原料

生活・健康産業 関連分野

- 〈主な製品〉
- 洗剤・洗浄剤用界面活性剤
 - ヘアケア製品用界面活性剤
 - 高吸水性樹脂 ●医薬品原料
 - 殺菌消毒剤・抗菌剤 ●外科用止血材
 - EIA(酵素免疫測定法)用臨床検査薬

情報・電気電子産業 関連分野

- 〈主な製品〉
- 重合トナー中間体
 - トナーバインダー
 - アルミ電解コンデンサ用電解液
 - 電子材料用粘着剤
 - 電子部品製造工程用薬剤



プラスチック・繊維産業 関連分野

- 〈主な製品〉
- 永久帯電防止剤 ●顔料分散剤
 - 樹脂改質剤 ●塗料用樹脂
 - UV・EB硬化樹脂 ●繊維製造用薬剤
 - 炭素繊維用薬剤 ●ガラス繊維用薬剤
 - 人工・合成皮革用ウレタン樹脂

石油・輸送機産業 関連分野

- 〈主な製品〉
- 自動車内装表皮材用ウレタンビーズ
 - ポリウレタンフォーム用原料
 - 潤滑油添加剤
 - 燃料油添加剤
 - デザインモデル製作用盛り付け樹脂

生活・健康産 業関連分野

売上高 260億6千3百万円
(前年同期比12.1%減)

営業利益 25億4千6百万円
(前年同期比5.9%増)

生活産業関連分野は、ヘアケア製品用界面活性剤及び家庭用台所洗浄剤に使われる界面活性剤が好調に推移しましたが、液体洗濯洗剤用界面活性剤の需要が一部製品において減少したため、売り上げは横ばいとなりました。

健康産業関連分野は、高吸水性樹脂の需要は堅調に推移しましたが、原料価格下落に伴う製品価格の改定などにより、低調な売り上げとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比で12.1%減少しましたが、営業利益は5.9%増加いたしました。

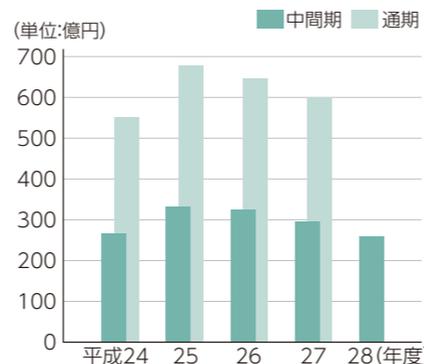


ヘアケア製品に

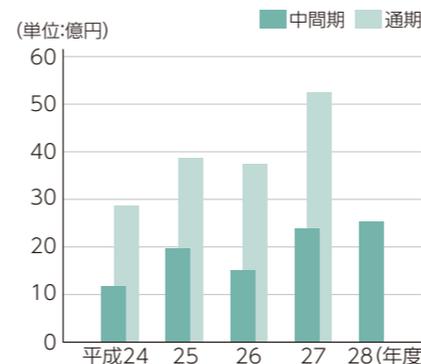


紙おむつに

売上高の推移



営業利益の推移



石油・輸送機産業関連分野

売上高 174億5百万円
(前年同期比9.2%減)

営業利益 8億8百万円
(前年同期比12.5%減)

石油・輸送機産業関連分野は、自動車内装表皮材用ウレタンビーズで新製品の拡販が進んだものの、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料や潤滑油添加剤等における原料価格下落に伴う製品価格の改定により、低調な売り上げとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比で9.2%の減少、営業利益は12.5%の減少となりました。

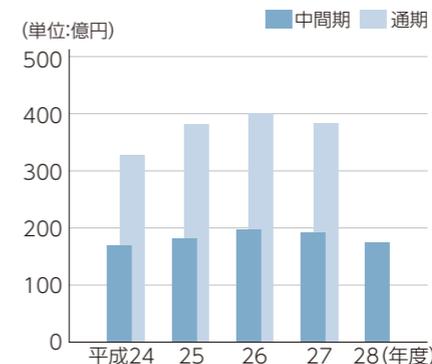


自動車の内装材に

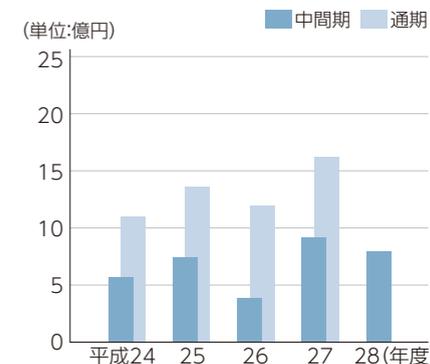


エンジンオイルに

売上高の推移



営業利益の推移



プラスチック・繊維産業関連分野

売上高 105億9千3百万円 (前年同期比1.2%減)
営業利益 20億9千7百万円 (前年同期比33.9%増)

プラスチック産業関連分野は、樹脂改質剤が売り上げを伸ばしましたが、永久帯電防止剤が電子部品搬送トレー用途で低迷し、売り上げを伸ばすことができませんでした。

繊維産業関連分野は、ガラス繊維用薬剤が海外を中心に売り上げを伸ばし、また自動車シートベルト糸やタイヤコード糸などの製造時に用いられる繊維用薬剤も中国市場が回復傾向にあり売り上げが伸びましたが、合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂が低調に推移したため、売り上げは横ばいとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比で1.2%減少しましたが、営業利益は商品構成の良化により33.9%の大幅増となりました。

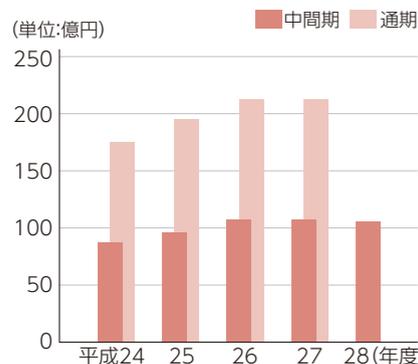


電子部品の搬送材料に

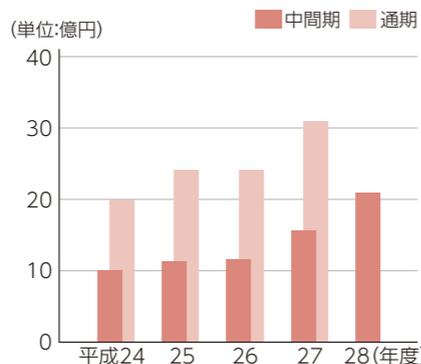


炭素繊維・ガラス繊維の製造に

売上高の推移



営業利益の推移



情報・電気電子 産業関連分野

売上高 99億7千2百万円 (前年同期比3.7%増)
営業利益 15億3千7百万円 (前年同期比118.3%増)

情報産業関連分野は、重合トナー用ポリエステルビーズの一時的な需要増がありましたが、粉碎トナー用バインダーの欧米での販売が縮小したため、売り上げは横ばいとなりました。

電気電子産業関連分野は、アルミ電解コンデンサ用電解液が好調に推移したことに加え、電子材料用粘着剤の需要が大きく増加したことで、大幅に売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比で3.7%増加し、営業利益は増収に加えて商品構成の良化もあり118.3%の大幅増となりました。

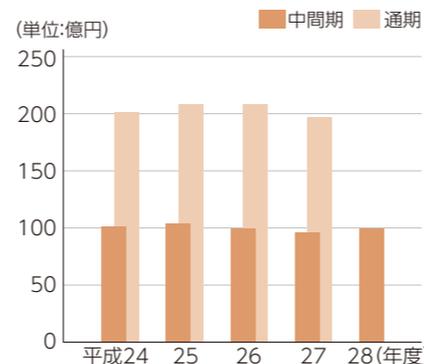


コピー機のトナーに

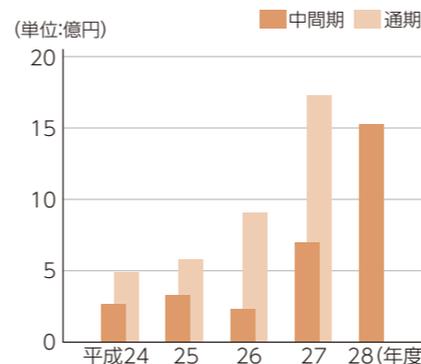


液晶画面に

売上高の推移



営業利益の推移



環境・住設産業関連分野他

売上高 79億9千9百万円 (前年同期比13.9%減)
営業利益 5億3千5百万円 (前年同期比27.0%増)

環境産業関連分野は、高分子凝集剤の市況が引き続き低迷し、高分子凝集剤用原料であるカチオンモノマーも売り上げが伸びず、低調に推移しました。

住設産業関連分野は、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料及び建築シーラント用原料が低調に推移し、売り上げは大幅減となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比で13.9%減少しましたが、営業利益は27.0%増加いたしました。

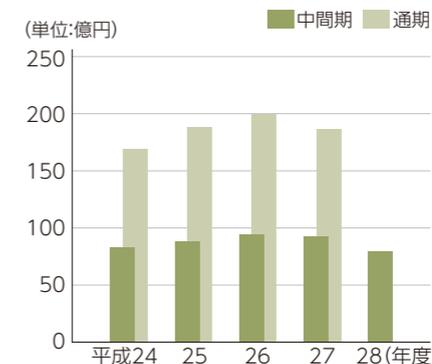


廃水の微粒子除去に

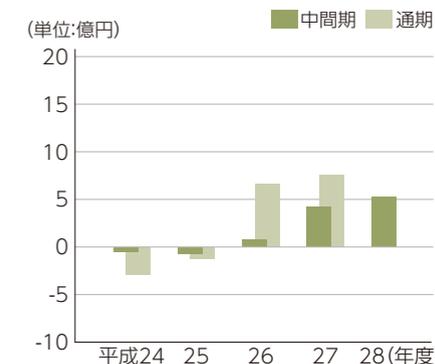


ソファに

売上高の推移



営業利益の推移



◎財務諸表

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 (平成28年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成28年9月30日現在)	増減金額
資産の部			
流動資産	80,997	81,588	590
固定資産	94,323	91,539	△2,783
有形固定資産	60,870	58,663	△2,207
無形固定資産	3,097	2,751	△346
投資その他の資産	30,354	30,125	△229
資産合計	175,321	173,128	△2,193
負債の部			
流動負債	42,777	40,876	△1,901
固定負債	14,258	13,236	△1,022
負債合計	57,036	54,112	△2,923
純資産の部			
株主資本	99,674	104,159	4,485
その他の包括利益累計額	12,345	9,236	△3,108
非支配株主持分	6,265	5,619	△646
純資産合計	118,284	119,015	730
負債及び純資産合計	175,321	173,128	△2,193

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

第2四半期(累計)連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減金額
売上高	78,433	72,035	△6,398
売上総利益	16,657	18,267	1,609
営業利益	6,019	7,524	1,505
経常利益	6,528	7,466	937
税金等調整前第2四半期純利益	6,204	7,156	952
第2四半期純利益	3,940	5,589	1,649
親会社株主に帰属する第2四半期純利益	3,599	5,155	1,556

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

第2四半期(累計)連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,889	9,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,765	△6,625
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,302	279
現金及び現金同等物に係る換算差額	77	△1,137
現金及び現金同等物の増加額	1,898	1,587
現金及び現金同等物の期首残高	16,016	19,323
連結子会社の決算期変更に伴う増減額	—	△607
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	17,915	20,302

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

連結キャッシュ・フロー計算書について

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により90億7千万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは固定資産の取得による支出等により66億2千5百万円の資金の減少となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の増加が配当金の支払等による支出を上回ったため、2億7千9百万円の資金の増加となりました。

ポイント

連結貸借対照表について

売掛金や有形固定資産の減少などにより、資産合計は前期末比21億9千3百万円減の1,731億2千8百万円となりました。

連結損益計算書について

原料価格下落による販売価格改定等により前年同期比で減収となりましたが、利益面では原料価格下落の継続や販売量増、コストダウンなどにより、前年同期比で増益となりました。

TOPICS トピックス

TOPICS 1

マレーシアで高吸水性樹脂の工場建設を開始

本年5月、マレーシアのジョホール州タンジュンランサット工業団地において、紙おむつなどに使用される高吸水性樹脂(以下、SAP)を製造販売するSDPグローバル株式会社の子会社であるSDPグローバル(マレーシア)の工場建設に着工しました。年間生産能力は8万トンで、2018年夏の操業開始を予定しています。これにより当社グループにおけるSAPの年間生産能力は、現在の日本13万トン、中国23万トンの合計36万トンから、44万トンとなる予定です。

新工場で生産を予定している『サンウェットSG』シリーズは、吸水スピードをコントロールできるという特徴を有してお

り、薄型化等の多様化する紙おむつのニーズに合わせた製品を提供できます。SAP市場は、今後もグローバルに需要拡大が見込まれますので、さらなる研究開発と生産体制の強化に努めていきます。



TOPICS 2

「粒度分布及び形状が制御されたトナー用ポリエステル系樹脂粒子の開発」で高分子学会賞を受賞

当社は「粒度分布及び形状が制御されたトナー用ポリエステル系樹脂粒子の開発」に関して、平成27年度高分子学会賞を受賞しました。

この賞は、高分子に関する科学及び技術の研究と発展、それらを担う人材の育成を目的に設立された公益社団法人「高分子学会」が、独創的かつ優れた業績を上げた技術に

対して贈る賞です。

このポリエステル系樹脂粒子は、独創的な技術を複数組み合わせることにより粒子の大きさや形状等が高度に制御されています。粒子が均一で微小であることから高画質を実現でき、また、低温で溶融して紙に定着するため省エネルギー化にも貢献できることから、2003年6月の本格商業生産開始以来、トナー用中間体用途として現在も多くの複写機・プリンターに採用されています。

この技術は、トナーの高性能化に貢献するとともに、トナー以外にも塗料・インキ等の広範な分野で活用が進むことが期待されています。



◎会社概要／株式の概況

概況 (平成28年9月30日現在)

創 立: 昭和24年11月1日
資 本 金: 13,051,179,427円
従 業 員 数: 1,282名(連結 1,999名)
関 係 会 社: 国内9社、海外15社

株式総数及び株主数 (平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数: 257,956,000株
発行済株式総数: 117,673,760株
株 主 数: 5,859名

※平成28年10月1日付で株式併合(5株を1株に併合)を実施しているため、平成28年10月1日時点で発行可能株式総数が51,591,200株、発行済株式総数が23,534,752株となっております。

大株主 (平成28年9月30日現在)

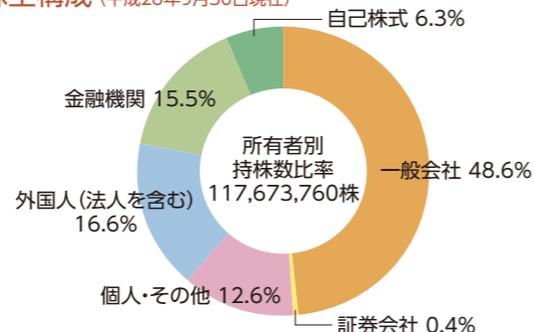
株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
豊田通商株式会社	21,431	19.4
東レ株式会社	19,133	17.4
株式会社日本触媒	5,529	5.0
JXホールディングス株式会社	5,306	4.8
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	4,699	4.3
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE - SSD00	3,542	3.2
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	2,768	2.5
三洋化成従業員持株会	2,467	2.2
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,658	1.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	1,504	1.4

(注) 1.上記のほかに、自己株式7,428千株があります。
2.持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

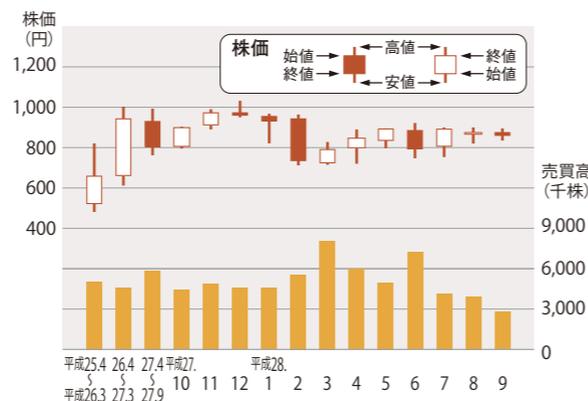
事業所 (平成28年9月30日現在)

本社(京都市東山区)
東京支社(東京都中央区)、大阪支社(大阪市中央区)
営業所: 東京、大阪、名古屋、北陸(富山市)、
中国(広島市)、西日本(福岡市)
研究所: 本社、桂(京都市西京区)
工 場: 名古屋(愛知県東海市)、衣浦(愛知県半田市)、
鹿島(茨城県神栖市)、京都

株主構成 (平成28年9月30日現在)



株価・売買高の推移



(注) 1.株価・売買高は東京証券取引所によるもの。
2.平成25年4月～平成27年9月の売買高は月平均。

役員 (平成28年9月30日現在)

取締役 取締役会議長 (社外) 上野 観
代表取締役社長 兼 執行役員社長 安藤 孝夫
取締役 兼 常務執行役員 鳴瀧 英也
取締役 兼 常務執行役員 前田 浩平
取締役 兼 常務執行役員 樋口 章憲
取締役 兼 執行役員 太田 篤志
取締役 兼 執行役員 下南 裕之
取締役 兼 執行役員 山本 真也
取締役(社外) 相京 重信
監査役(常勤) 小寺 昭芳
監査役(社外・常勤) 大志万 俊夫
監査役(社外) 清水 順三
監査役(社外) 河西 隆英

営業第一部門担当兼生活・繊維本部長兼東京支社長
研究部門担当兼事業研究本部長兼研究業務本部長兼本社研究所長
営業第二部門担当兼潤滑油添加剤事業本部長兼石油・環境本部長
生産部門担当兼環境保安対策本部長
SDPグローバル株式会社代表取締役社長
企業倫理担当兼間接部門担当兼事務本部長

常務執行役員 鶴田 博之 サンノブ株式会社代表取締役社長
執行役員 武田 栄明 生産技術本部長
執行役員 木村 昌史 樹脂・色材本部長
執行役員 田中 敬次 SDPグローバル株式会社取締役
執行役員 徳本 祐一 経営企画室副室長
執行役員 岡田 英治 情報・電材本部長
執行役員 北村 充也 購買本部長
執行役員 福井 正弘 開発研究本部長兼桂研究所長
執行役員 藤井 雄一 生産本部長
執行役員 須崎 裕之 国際事業推進本部長

(注) 1.取締役 上野 観氏、相京 重信氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、届け出ております。
2.平成28年10月1日付で、取締役兼常務執行役員 前田 浩平氏は、研究部門担当兼事業研究第一本部長兼研究業務本部長兼本社研究所長に、執行役員 福井 正弘氏は、事業研究第二本部長兼桂研究所長にそれぞれ役職変更しております。

CSR通信

中学生の勤労体験に協力

当社は、京都市教育委員会が2002年度から推進する「生き方探求・チャレンジ体験」事業に協力して、体験学習する場を提供しています。

この事業は、生徒の興味や関心に基づいた勤労や介護、保育といった社会体験を通じて、自らの生き方を考える契機にするとともに、人間関係や社会の一員としての自覚などを学習することを目指しています。

今年も近隣の中学校3年生の4名が4日間にわたって化学の実験や安全パトロールなど、当社の本社や研究所及び工場の仕事を学習・体験しました。

海外子会社の寄付活動

当社グループでは、今年度も幅広い分野で寄付を実施しています。海外においては、中国の現地子会社が地元の中学校へ運動服を寄付しました。また、タイの現地子会社では、地元の小学校にスポーツ用具や文房具を寄付しました。今後も寄付活動をはじめ、地域社会に貢献できる活動を継続していきます。



株 主 メ モ

事業年度/毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当基準日/3月31日

中間配当基準日/9月30日

定時株主総会/毎年6月

株主名簿管理人/三井住友信託銀行株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

(電話照会先 郵便物送付先)

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

電話0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び
全国各支店で行っております。

公 告 掲 載/当社ホームページ

<https://www.sanyo-chemical.co.jp/>

上場証券取引所/東京証券取引所市場第一部(コード番号 4471)

住所変更、配当金の受取方法の指定、 単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様が口座を開設されている証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金計算書(配当金および端数株処分代金計算書)について

同封しております「配当金計算書(配当金および端数株処分代金計算書)」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましては、「配当金計算書(配当金および端数株処分代金計算書)」を同封させていただきます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

○株式併合・単元株式数の変更について

平成28年6月17日開催の第92回定時株主総会の決議に基づき、10月1日付で株式併合(5株につき1株の割合)と単元株式数の変更(1,000株から100株)を実施しております。そのため、株主様をご所有の株式数が5分の1に減少しておりますが、1株当たりの純資産は5倍となるため、株式の資産価値に変動はありません。

なお、同封の配当金関連書類につきましては、9月30日時点の株式数をもとに作成しているため、株式併合前のご所有株式数で計算しております。

三洋化成工業株式会社

本社

〒605-0995 京都市東山区一橋野本町11-1

TEL:075-541-0255(総務ダイヤルイン)

ホームページアドレス <https://www.sanyo-chemical.co.jp/>



レスポンスフルケア

当社は環境と安全の確保を経営の優先的重要課題にしています。



(表紙の写真について)

① 酬恩庵一休寺 [京を歩けば NO. 330「京田辺」]

② 伏見の酒蔵 [京を歩けば NO. 332「伏見街道・奈良街道」]

③ 伏見の水路 [京を歩けば NO. 332「伏見街道・奈良街道」]

当社ホームページでは、多彩な執筆陣が京都のさまざまな一面について語る「京を歩けば」を掲載しています。その他にも当社製品やIRIに関する情報を公開しておりますので、是非ご覧ください。

三洋化成工業

検索



QRコードからも
当社ホームページが
ご覧いただけます。